

# ところざわ 市議会だより

平成25年(2013年)2月1日/年4回発行  
発行/所沢市議会 編集/広聴広報委員会  
〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1



第165号

## 第2回「政策討論会」を開催します

討論テーマ

### 地域福祉を考える

サブテーマ…… 社会問題化している孤独死・児童虐待を防ぐために

日時 2月9日(土) 午後2時から

会場 所沢市役所3階・全員協議会室

参加予定議員…村上 浩(座長)・平井明美(副座長)・脇 晴代・谷口雅典・末吉美帆子・安田義広・越阪部征衛・中村 太  
※お申し込みは不要ですので、お気軽にご来場ください。(定員 先着100人)

所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会から「答申」をいただきました。(詳細は最終ページ参照)



第3回審議会のようす (10月22日)



廣瀬審議会会長より浜野議長に答申書が手渡されました (11月29日)

#### おもな内容

- |                                  | ページ  |
|----------------------------------|------|
| ◆第4回(12月)定例会 おもな議案の概要 ほか         | 2~4  |
| ◆議案に賛成・反対します、本会議において賛否が分かれた審議結果  | 5    |
| ◆平成23年度決算を認定しました、議会報告会を開催しました ほか | 6    |
| ◆市政に対する一般質問                      | 7~11 |
| ◆閉会中の議会活動、請願・陳情審議の結果             | 11   |
| ◆議員定数に関する審議会からの答申、可決された意見書 ほか    | 12   |

### 平成24年 第4回定例会 (12月3日~12月25日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は作成後、市立図書館、市政情報センター(市役所1階)ほかで閲覧できます。

♻️ 本紙は古紙再生紙を使用しています。

●市議会ホームページアドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/> →「市議会」をクリック

平成24年  
第4回  
定例会

# 議案32件を可決しました



平成24年第4回（12月）定例会は、12月3日から12月25日までの23日間の会期で開会されました。

市長からは専決処分の承認（予算関係）1件、一般会計補正などの予算関係4件、条例関係20件、人事案件2件を含む計32件の議案が提出され、すべて可決しました。

第3回（9月）定例会で閉会中の継続審査とした議案第94号「平成23年度所沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」は可決、平成23年度決算9件は、すべて認定しました。

議員からは、「慢性の痛み対策研究経費の確保を求める意見書」が提出され、全会一致で可決しました。

## おもな議案の概要

### 市長提出議案

#### 建設水道常任委員会 付託議案

◎平成24年度一般会計補正予算（第7号）

#### 道路照明灯維持管理事業

1,366万8千円

道路照明灯の電気料金については、燃料の貿易統計単価に基づき、毎月調整される燃料費調整単価が上昇したことや、本年9月1日に東京電力による電気料金の値上げが実施されたこと等に伴い、電気料金の支払いが増加する見込みとなったため、不足分を補正するものです。

#### 市道4-245号線（ハナミズキ通り）歩道等整備事業

9,600万円

市道4-245号線の電線共同溝工事については、国庫補助金を活用し、平成21年度から平成23年度を工事期間として実施してきました。しかし、2つの工区で、地上機器設置の再調整や各道路占有者との協議に時間を要し、工事完了が一部のみとなったため、全体工事の完成には至らず、本年度予定していた電線共同溝引込管等については実施が困難となりました。これに伴い、本工事は国庫補助事業としては未竣工工事扱いとなり、国庫補助金の返還が必要となりましたので、市債の繰上償還および電線共同溝引込管等整備委託料を減額するものです。

**問** 今回の補助金は返還することだが、今後再び、補助金を申請する

考えはあるのか。

**答** 今後の補助金要望については、返還が終わった段階で、機会があることに要望していく考えである。

建設水道常任委員会は、議案第96号「平成24年度所沢市一般会計補正予算（第7号）」の予算執行にあたり、全会一致で下記のとおり付帯決議を付しました。

記

- 1 本来、市道は、市に帰属するものであり、関係者との調整に手間取ったことは遅滞理由にあたらぬ。すなわち、事業の執行において重大な甘さがあったと指摘せざるを得ない。よって、今後、このようなことが起きないように、慎重な対応を求める。
- 2 補助金返還にあたり、事故線越等の適用可能性があったにもかかわらず、それを逸したことは、事務処理が不適切であったと言わざるを得ない。

今後は、関係機関との連携を図り、適正に事務を進めるよう強く求める。 以上

◎平成24年度下水道特別会計補正予算（第2号）

#### 下水道使用料改定事業

259万3千円

下水道使用料については、受益に対する負担の適正化と下水道事業の安定経営を図るため、所沢市下水道事業運営審議会による審議を行うなど、今後のあり方について検討してきました。同審議会の方針等を踏まえ、平成25年4月1日から下水道使用料を改定するもので、同改定について市民の皆様へ事前に周知するため、各戸へ料金改定のお知らせ文書を配布する費用を補正するものです。

**問** 前回の使用料改定は19年前の平成5年とのことだが、今後は定期的な見直しをすべきではないか。

**答** 審議会の答申でも、今後の社会情勢の変化に対応できるように、5年以内での見直しを示されたので、順次検討していく。

◎市道路線の認定 6路線

**総務常任委員会 付託議案**

◎専決処分の承認を求めることについて

■衆議院議員選挙執行事業

8,656万9千円

本年11月16日に衆議院が解散され、12月16日に衆議院議員総選挙が執行されることになりましたが、選挙執行日までの準備期間が短期であり、早期に事務執行を行う必要があることから専決処分により予算の補正を行いました。ついてはその承認を求めます。

◎平成24年度一般会計補正予算(第7号)

■ホームページ作成・公開用システム改修事業 89万円

平成25年度の組織機構の見直しにより、部課名の変更・新設、所掌事務の変更が予定されています。これに伴い、ホームページ作成・公開用システムの組織情報や管理情報の一括変更作業を委託する費用を補正するものです。

◎所沢市職員定数条例の一部改正

下水道事業と水道事業の統合や消防組織の広域化等、平成25年度組織機構の見直しにより、職員の配置に変更が生じることから本条例を一部改正するものです。

◎所沢市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

現行は45分の休憩時間と15分の休息時間となっていますが、休憩時間を廃止して、休憩時間を1時間とするものです。これにより、職員の標準的な勤務時間は午前8時30分から午後5時15分までとなります。また、特別休暇のうち、ドナー休暇を利用できる要件に、末梢血幹細胞移植のための末梢血幹細胞の提供をする場合を加えるものです。

◎所沢市一般職員の給与等に関する条例の一部改正

本年8月に人事院より50歳代後半層における、昇給制度の見直しが勧告されましたので、本市の一般職員の給与についてもこれに準じた措置を行うものです。

**問** 本議案に関しては、職員組合との交渉を打ち切って提案された。確かに人事院勧告は出ているが、組合と合意の上で提案すべきではないか。

**答** 公務員の給与にはさまざまな意見があり、人事院勧告に沿った改定を進めることで、多くの市民の理解が得られるものと考えている。

**教育福祉常任委員会 付託議案**

◎平成24年度一般会計補正予算(第7号)

■児童手当支給事業

2億9,130万円

児童手当法改正により、所得制限を超える方に対しても特例給付を支給することとなったこと、また、所得制限を超えない方の割合が当初の見込みを上回ったため不足分を増額するものです。

■子ども医療費助成事業

4,772万2千円

子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成しています。受診件数が当初の見込みを上回ったため、医療機関申出書等手数料、審査支払委託料および子ども医療費の不足分を増額するものです。

■生活保護扶助事業

4億5,690万9千円

長引く経済不況や景気の低迷を受け、失業者等の増加が続く中、生活保護世帯が増加したため、補正を行うものです。

◎市民医療センター使用料及び手数料条例の一部改正

市民医療センターでは、入院病棟の個室使用料を平成19年10月から特別療養環境室料として1日について3,150円

としてきました。このたび、市民医療センター運営委員会で審議した結果、改定が相当との答申を受けたので、個室使用料について市民は6,300円、その他は10,500円に改定するものです。

**市民環境常任委員会 付託議案**

◎平成24年度一般会計補正予算(第7号)

■温暖化対策事業

300万円

本市においても、住宅用太陽光発電の普及拡大施策を積極的に実施しています。本年7月に開始された再生可能エネルギーの固定価格買取制度等により、市民の住宅用太陽光発電に対する関心や導入意欲が高まっており、市補助制度への申請が増加しています。今後も、申請件数の増加が見込まれており、当補助金を増額するため補正するものです。

■東部クリーンセンターリサイクルプラザ運転業務委託事業

東部クリーンセンターリサイクルプラザは、破碎ごみ類、びん・かんなどの資源ごみおよびプラスチック類の資源化を図る施設で、クリーン作業など運転管理を現業職員が行い、選別および搬出作業を民間委託で実施しています。今年度末からクリーン作業など運転管理を行って

いる現業職員の退職による減員が見込まれ、安定的な施設運営が困難となることから、同施設の作業を平成25年度から全面委託するものです。このことから、継

統的な安定的稼働に向け、債務負担行為を設定するものです。

**問** リサイクルプラザ運転業務を全面委託にするメリットはなにか。

**答** 業務に精通した事業者へ委託することにより、安定した効率のよい運転管理ができる。また、試算では約3,500万円の経費削減となる。



▲東部クリーンセンターリサイクルプラザ

■観光客誘致広告事業

120万円

平成25年3月から、西武池袋線と東横線・横浜高速鉄道みなどみらい線の相互直通運転が開始され、神奈川方面から本市へのアクセスが向上します。これに伴い、沿線地域からの観光客等の誘致を促すため、西武鉄道の先頭車両にトコロん等、本市を象徴する広告を掲示するものです。

◎元町地下駐車場の指定管理者の指定

現指定管理者の指定期間が平成25年3

月31日で満了となるため、平成25年度以降について新たな指定管理者を指定するものです。

**指定する団体** 社団法人日本駐車場工学研究会

**指定期間** 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

**問** 指定管理者として予定されている日本駐車場工学研究会とは、どのような団体か。

**答** 駐車場工学の学術的發展に寄与することを目的に、昭和35年に設立した文部科学省管轄の社団法人である。

■産業廃棄物処理業計画書に係る意見

産業廃棄物処理業計画書（産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業）について県から照会があり、「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻す

産業廃棄物処理業計画書に係る意見

諮問第1号及び諮問第2号については、平成24年12月7日現地調査を実施し、協議した結果、次のとおり意見を付すことに決しました。

この諮問は、所沢市議会が制定した「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻すための条例」第3条第1号の規定により当該事業計画について意見を求められたものであり、所沢市議会は、次のことを求めます。

- 1 周辺の良好な生活環境の維持と安全のため、事業者は関係法令に基づき、適正な対策を講じるとともに、保管基準を十分遵守すること。
- 2 事業場内及び近隣周辺は、常に整理整頓に努め、清潔さを維持すること。
- 3 破碎、梱包、集じん機などの施設にあっては、維持管理を徹底した上、安全性を確保し、特に粉じん、振動、騒音については環境保全対策に万全を期すこと。
- 4 アスベストを含む廃棄物については特に、積替え保管施設の維持管理を徹底し、安全性を確保すること。また、自主的な検査を実施すること。
- 5 昨年に同様、国民的な課題となっている放射性物質による汚染がれき等の混入の不安があるため、定期的な計測に努めること。

委員会付託を行わず

全体審議とした議案

(追加議案2議案)

ための条例」に基づき、議会の意見を求める議案が2件提出され、意見を付しました。計画内容は、事業地および保管施設面積の拡張による産業廃棄物処分業（中間処分）と産業廃棄物収集運搬業の変更許可で、事業計画者および計画地はいずれも、東明興業株式会社、大字南永井字北一本木844番2ほか13筆です。

◎教育委員会委員の任命に同意

・中川奈緒美氏（けやき台／新任）

◎人権擁護委員の推薦に同意

・木村 幸子氏（緑町／新任）

議員提出議案

「慢性の痛み対策研究経費の確保を求める意見書」が提出され、全会一致で可決しました。（意見書の全文は最終ページ参照）

12月定例会の動き

12月3日

本会議 提案理由の説明・議案説明

12月4日

本会議 決算特別委員長報告・討論・採決

12月6日

本会議 常任委員長報告(特定事件)

12月7日

本会議 議案質疑

12月7日

委員会 議会運営委員会審査・四常任委員会並行審査

12月11・12・13・14日

本会議 市政に対する一般質問

12月17・18日

委員会 建設水道常任委員会審査

12月21日

本会議 常任委員長報告

12月25日

本会議 討論・採決  
追加議案の上程・質疑 採決  
議員提出議案の上程・採決



## ●市議会3ヵ月●

- 10月2日、5日、9日、16日  
決算特別委員会
- 15日 広聴広報委員会
- 18日 建設水道常任委員会視察
- 19日 教育福祉常任委員会
- 22日 所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会
- 23日～25日 市民環境常任委員会視察
- 24日～25日 教育福祉常任委員会視察
- 29日～31日 総務常任委員会視察
- 11月2日 議会運営委員会視察
- 10日 議会報告会（於：狭山ヶ丘コミュニティセンター）
- 12日～13日 広聴広報委員会視察
- 16日 議会報告会（於：市民体育館）
- 26日 議会運営委員会
- 12月3日～12月25日 第4回定例会
- 3日、17日 広聴広報委員会

## 平成23年度決算を認定しました

9月定例会に提出された、議案第94号「平成23年度所沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」と平成23年度決算9件は12月定例会で討論を行い、採決の結果、議案第94号は可決、決算はすべて認定しました。

### 一般会計歳入歳出決算

#### ●決算認定に反対します

市の仕事公開評価事業は構造改革路線によるもので、市独自事業を縮小・廃止へ導くものである。

まちづくりセンター運営費については、地域を行政の下請機関化するものであり課題がある。

亀鶴園管理委託料については、臨時職員の雇用条件や給食の基準等、高齢者福祉施設の実態が把握しづらい状況となっている。

図書館窓口業務委託については市の評価で従事者の研修や、責任者等の責任能力に指摘があった。

廃プラスチック焼却関連予算については、経費の出し方に課題があった。また、焼却により二酸化炭素も増加しており、減量・資源化の方針に転換すべきである。

#### ●決算認定に賛成します

市の仕事公開評価事業については、過去の課題を踏まえ、評価の進め方に工夫が見られる。

まちづくりセンター運営費については、地域の絆を深め、安心して暮らせる地域社会を作るための重要な施策と評価する。

亀鶴園管理委託料については、経費削減の効果も出ており、創意工夫した運営が展開され、効果は上がっている。

図書館窓口業務委託については、経費の削減も図られ、開館時間の延長により市民サービスの向上が図られている。

廃プラスチック焼却関連予算については、発電量の増加により2千万円以上の経費節減となった。

## 「議会報告会」を開催しました

11月10日に狭山ヶ丘コミュニティセンターで、11月16日に市民体育館会議室でそれぞれ開催しました。2日間で106人の方にお集まりいただきました。

### おもな質疑

**問** 水道部と下水道部の組織統合による移転費用や、保健福祉部が二つの部に分かれることにより懸念される、人件費について説明がない。

**答** 水道部と下水道部の統合によって、課は減少する。また、職員数についても市は定員適正化計画により、毎年職員数を減らす方向である。

**問** 市の人件費に関する人事委員会のような組織では行政職に対してどのようなアドバイスをしているのか。また、議員の報酬は、他自治体とどのような相対比較の位置づけにあるのか。

**答** 所沢市には人事委員会がなく、人事院勧告に準拠している。議員報酬を他自



治体との比較で一概に位置づけることは難しいが、人口規模で考えると若干高めであると認識している。

**問** 狭山ヶ丘中学校におけるエアコン問題に対して、広報ところざわ11月号に掲載された市長の見解は、非常に不愉快である。この問題について、今後の議会ではどのように取り組む考えなのか。

**答** これまでも、議員提出議案や請願の可決、議員による一般質問等での問題に取り組んできた。今後も一定のルールの中で取り上げていくのが、現在の議会の立場だと考えている。

**問** 狭山ヶ丘中学校におけるエアコン問題に関して、議会は市長に遠慮せず、もっと強い態度で臨んでもらいたい。

**答** これまでの議会報告会においても数多くのご意見をいただいております。今後注目される問題なので、対応を注視していただきたいと思います。

### おもな意見

・狭山ヶ丘中学校のエアコン問題は、狭山ヶ丘地区だけの問題ではなく、所沢市全体の問題だという意識で、取り組んでいただきたい。

・市民憲章に「こどもは市の宝」とあるがまさに宝の持ち腐れと感じる。人口が減っている中で、今の子どもたちが親になつたとき、所沢市は子どもを学ばせる環境が整っていないから、他の自治体を選んでしまうのではないかと心配である。

・議会報告会に初めて参加したが、議員の活動が伝わってこない。

# 市政に対する

# 一般質問

12月定例会では、21人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中、1項目だけを掲載しています。  
 なお、すべての質問項目は市議会ホームページでご覧になれます。



## 地域住民が納得できる

### 防災訓練を

質問者 所沢フォーラム、おおぞら 大館 隆行

**議員** 今年の防災訓練は、市内66か所の指定避難場所のうち33か所を訓練会場として実施されたが、地区によって開催方法がばらばらである。近所の避難場所が訓練会場でないため、遠方の訓練会場まで足を運ばなければならない地区もあれば、訓練会場を持ち回りにしている地区もある。各自治会等で運営しているとはいえ、それぞれの地域住民が納得できる防災訓練はできないのか。

**危機管理担当理事** 市内66か所の指定避難場所すべてが訓練会場になっていないため、中には訓練会場が遠く、参加ができない、ためらったという方々もいらっしゃるのかと思われる。各地区防災訓練の実施会場の選定については、地域の自

主的な判断に委ねているところだが、実施会場の持ち回り場所の拡大や、より多くの会場での訓練実施方法などを、自主防災会連合会との協議の中で検討していきたいと考えている。

## 交通不便地域への

### ところバスの拡充を

質問者 日本共産党 矢作いづみ

**議員** ところバスは、高齢者や障害者をはじめとする市民の利便性向上を目的に大変喜ばれている。その一方で、地域からはさまざまな要望が出ている。例えば、下富地区の交差点から三芳町方面に向かう地域では、市境に近い地域で住宅が増えたにもかかわらず、そこまでは運行していない。富岡循環コースの運行を三芳町境まで延長することへの見解を伺いたい。

**市民部長** ところバスの運行見直しについては、所沢市循環バス検討委員会を設置し、平成25年度中の実施を目指して調査検討を進めているところである。富岡循環コースの運行を三芳町境の道路まで延長することについては、同検討委員会

において協議し、現地調査等を実施したが、バス車両が運行するには道路幅員が狭い区間があり、難しいと考えている。



▲ところバス

## 農業の担い手確保に

### 新たな取り組みを検討しては

質問者 至誠クラブ 杉田 忠彦

**議員** これからの農業を支えていくためには、新規就農者や定年帰農者、企業やNPO法人の農業参入など、多様な担い手の確保が重要な課題である。現在までに市が実施している取り組み以外にも、新しい取り組みが必要だと考えるが、何か検討しているのか。

**産業経済部長** 本年度から、一部の地域において、地域農業マスタープランを作

成したところである。これは、地域の話し合いにより、地域の中心となる農業経営体を定め、そこに農地を集積していくものである。また、来年度からは、J A いるま野の所沢地域において、組合員を対象に定年帰農者が農作物の生産技術を研修できる「農業塾」といったものを開設する予定であり、市においても、県や関係機関とともに、この「農業塾」について協議しているところである。

## 女性の自立を促すために

### 女性議会で女性宣言を

質問者 公明党 亀山 恭子

**議員** 男女共同参画の意識を高めるために、女性議会を開催している他市の事例がある。例えば、入間市では平成15年に入間市女性議会を開催し、入間市男女共同参画都市宣言の宣言文を採択、同年11月16日に「入間市男女共同参画都市宣言」を発信している。本市においても、同様の取り組みを実施してみてもどうか。

**総合政策部長** 本市においては、平成16年に「所沢市男女共同参画推進条例」を策定し、これに基づいて現在、DVをはじめ女性の自立に関わる社会活動へのチャレンジ、働く場における男女共同参画などの基本施策を実施することで、女性の自立意識の向上に努めているところである。こうしたことから、現時点で女性議会の開催については考えていないが、今後、女性議会の意義、必要性、他市の状況などを研究していきたいと考えている。

### 市独自の結婚証発行で

#### 市外へのPRを

質問者

至誠クラブ 荻野 泰男

議員 長野県諏訪市では、結婚したときの幸せな気持ちを忘れずにいてほしいという職員提案により、本年10月から市独自の結婚証を無料で発行している。これには、諏訪湖の花火大会や市のイメージキャラクターの写真が扱われており、市への愛着が増すとともに、市外へのPR効果も期待できるが、本市において検討する考えがあるか見解を伺いたい。

総合政策部長 結婚証は、成婚者にとって新しい門出の記念になり、所沢の地で結婚したことを改めて認識していただくことで、市への愛着につながることも期待できると考えている。本市で発行した場合、市のイメージキャラクターであるトコロンや飛行機といった本市の魅力を伝えるイラストを加えることによって、一層のPR効果も期待できると思われる。その他の方法も検討しつつ、婚活事業を進めていく中で研究していきたい。



### 道路照明灯のLED照明交換

#### リース方式の導入が必要では

質問者

公明党 植竹 成年

議員 LED照明は器具が高価なために

初期費用が負担となり、予算確保が難しいと思われるが、打開策の一つとして、民間の資金を活用したリース方式によって、公共施設へのLED照明導入を進める自治体が多くある。新たな予算措置を取ることなく、電気料金の節減分でリース料金を賄うことが可能であるが、導入への見解を伺いたい。

建設部長 照明灯の耐用年数等を考慮すると交換の必要があると考えているが、現状では、老朽化したポールの修繕などの維持管理費用を予算の範囲内で取り組んでいるところである。照明灯の型式次第では、初期費用を抑えることができるものの、器具の選定やリース方式が適しているかどうかといった課題もあるため、他自治体の事例を参考に引き続き研究していきたい。

### 公園利用上の注意

#### 行き過ぎた規制は見直すべきでは

質問者

至誠クラブ 中村 太

議員 最近、公園において「犬の放し飼いや、ルールを守らない場合には、犬を連れての入園を禁止することを検討しています。」「硬いボールやバットで遊ぶこと等、利用者や近隣の方々に迷惑のかかる行為はおやめください。」といった、利用上の注意を目にする。このような文言の背景には、近隣からの苦情があったのかもしれない、事故防止の観点から注意喚起を行うことも理解できないものではない。しかし、ルールを守って犬の散歩や、子どもとキャッチボールをしたいと

考えている利用者が萎縮してしまったり、公園整備をしても本末転倒である。個の追求と権利の主張から生じる極端な規制で生きづらい世の中を生むより、もっとおおらかに生きるほうが、人の健康上、精神上、そして、日本の発展のためにもよいと考えるが、見解を伺いたい。

市長 同感であり、挙げられた事例については寂しいものだと思っている。現代の人と人の絆や関係が疎遠化していなければこのようなことはなく、利用者同士の良識の中で折り合いながら、気持ちよく公園を利用していただくのが本来の姿だと考えている。ご指摘の公園利用上の注意喚起については、一部のマナー違反者が絶えなかったことから、公園利用者や近隣住民の強いご要望もあり、事故の未然防止対策の一つとして対応したと聞いている。この対応についても一理あり、非常に悩ましいことではあるが、地域の中で人と人によって解決できるような環境を醸成していくべく、担当部署に対応を指示していく。

### 自転車事故多発地点の

#### 対策が必要では

質問者

みんなの党 所沢 松崎 智也

議員 先日の埼玉新聞によると、自転車事故が多発した交差点というランキングの上位に本市西新井町の交差点が入っていた。この交差点は、乗用車の視点からすると非常に見通しが悪く、横断歩道が確認できるのは交差点に差しかかる直前である。今後、警察と連携し、交通事故

が多く危険性の高い交差点を随時把握するなどの対策が必要ではないか。

市民部長 死亡事故が発生した場合には、所沢警察署より直ちに場所や状況等の詳細な情報提供を受けている。今後、特に危険性の高い交差点については、警察署と情報の共有化などに関して協議を進めるとともに、交通安全対策に努めていく。



▲西新井町交差点

### 市長の意思を伝えるためには 職員との議論の場づくりが必要では

質問者 育 越阪部征衛

議員 市長のまちづくりに対する思いを市民が知り、理解できるようにするには大変な時間が必要である。それには、まず、職員が市長の思いを知り、理解できることが重要だが、定期的な議論の場づくりに早急に取り組まなければならないのではないか。

市長 本年9月定例会において、積極的に職員とのコミュニケーションを図っていききたい考えを申し上げたが、先日入庁10年目の職員を対象に、市の施策や仕事に対する意識の共有化を図るため、市長と職員との懇談会「ガッツリとーく」を実施した。5日間で49人の若手職員と意見交換する機会を得て、職員の業務に対する考えが聞け、有意義な時間となった。今後も機会を設け、積極的に職員とのコミュニケーションを図っていききたい。



### 所沢歯科診療所あおぞら 管理運営方法の見直しを

質問者 所沢フォーラム、おおぞら 青木 利幸

議員 所沢歯科診療所あおぞらは、「所沢市歯科診療所条例」に基づき、在宅要介護高齢者や心身障害者に対する歯科診

療とともに、休日の救急歯科治療を行う目的で設置された施設だが、開設から14年が経過し、運用上さまざまな課題が出ているのではないかと。条例の見直しを検討しているのか。

保健福祉部長 開設当初と比較すると、市内の歯科診療所も増加しており、特に近年、休日・夜間診療を行う診療所も見受けられるようになった中、市民の多様な歯科診療ニーズに対しては、各地域の歯科診療機関の尽力が大きく期待されている。歯科診療所あおぞらの果たすべき役割については、限られた財源の活用、また、地域の診療機関との連携の観点から総合的に判断していく必要がある、条例の見直しについても、所沢市歯科医師会との協議結果を踏まえてということになる。

### 新所沢駅東口ロータリーの 点字ブロックの改善を

質問者 共生 脇 晴代

議員 新所沢駅東口ロータリーの点字ブロックについては、所沢市視力障害者福祉協会等から、摩滅した旧式の点字ブロックがインターロッキングの中にあるため足の裏で認識しにくく、方向を間違えて車道に飛び出してしまう危険性が残っている。一日も早く改善してもらいたい旨の要望が西武鉄道株式会社に提出されている。市は、西武鉄道に対してどのような働きかけをしているのか。

市民部長 市に対しても要望があったことから、本年2月に市、西武鉄道株式会

社および障害者団体の立ち会いによる現場診断等を行った。改善策として点字ブロックの再塗装が施されたが、改善が不十分として再要望を受けたことから、本年4月に西武鉄道に対して改善の依頼文書を出すとともに、その他の協議の場においても依頼したところである。

### トイレ機能の分散化で 利用者の混雑解消を

質問者 民主ネットリベラルの会 島田 一隆

議員 昨今、車いす利用者やオストメイトに対応した設備、また、おむつ交換台が併設されている多機能トイレが普及している。その一方で、国土交通省のアンケートによると9割の利用者が待たされた経験をもち、待たせた側の大半が子連れの利用者や障害者に見受けられない利用者である。これは、多機能トイレに機能を詰め込みすぎたため、本来優先されるべき方々が利用できなかったことを如実に表していると考えられる。対応策として、ベビーカーごと入れる個室の設置、おむつ交換台やオストメイト向けの汚物流しを一般トイレに増設することが求められるが、今後の市の対応は。

※オストメイト…人工肛門保有者、人口膀胱保有者

保健福祉部長 市役所本庁舎においては、高層棟1、2階の男女一般トイレにおむつ替えシートを設置している。また、高層棟1、2、8階および低層棟1、2階の男女一般トイレにベビーカーを設置し、トイレ機能の分散化を図っている。

本年7月には、バリアフリー法に基づく建築物に関するガイドラインが改訂され、この中では、多機能トイレに利用が集中し、車いす利用者などが待たされている状況を改善するため、一般トイレにも機能を分散することを求めている。今後については、国土交通省のトイレ整備に関する新たな方針に従い、徐々にではあるが、機能の分散が図られていくものと考えている。



▲多機能トイレ (市役所1階)

### 保育コンシェルジュで 待機児童の解消を

質問者 民主ネットリベラルの会 末吉美帆子

議員 保護者の要望や条件の相談に乗り、支援する保育コンシェルジュには多くのメリットがある。例えば、認可保育園へ入園できなかった保護者のアフターフォローや、認可保育園以外の保育施設の調

査、情報収集による施設との交流などが挙げられ、これらを通してさらなる待機児童の解消が見込めると考えるが、このような取り組みは進められないのか。

**こども未来部長** 市では、毎年、保育園の新設や増設などを通して児童の受け入れ枠を増やし、待機児童数を着実に減少させているところである。また、担当職員による認可保育園以外の保育施設の紹介や説明も行っている。今後も子育て中のご家庭が安心できるような手法を検討し、実施することが重要であると考えることから、ご提案いただいた件も踏まえながら、引き続き待機児童対策に取り組みんでいく。



**悪天候後の公園清掃**

**職員体制は**

質問者 至誠クラブ 浅野美恵子

**議員** 強風や大雨といった悪天候後の公園には、いつも以上に木の枝が折れ、枯れ葉が落ちている。市の担当職員が清掃箇所をすべて見て回り、危険箇所から順次清掃していくことは知っているが、市民としては、近所の公園を見て、市はすぐに対処していないといった不満を持つこともある。市の現場職員の人数と委託先であるシルバー人材センターの体制はどのようなになっているのか。

**建設部長** 市の担当職員は、現場職員を含め19人である。シルバー人材センターへは、管理している公園のうち、79公園を委託し、週に2日から4日、公園一箇所につき1時間から2時間程度で主に清掃事業を委託している。

**廃プラスチック焼却**

**方針転換後の課題は**

質問者 日本共産党 城下 師子

**議員** 本市のごみ処理方針を大きく転換し、廃プラスチック焼却が実施されてから1年が経過した。この間、廃プラスチックの焼却により経費が削減された一方で、焼却によって発生する二酸化炭素が増加したことも明らかになっている。焼却依存ではなく、さらなるごみの減量・資源化は、経費面でも有効だと考えているが、廃プラスチック焼却の実施後、どのような課題があるのか。

**環境クリーン部長** 排ガスの測定結果では、廃プラスチック焼却前と比較しても大きく環境に影響を与えるものはなかったと判断している。また、費用対効果において、平成23年度決算額で約1,920万円の経費削減となっており、廃プラスチック焼却については特に問題はないと考えている。しかし、東部クリーンセンターも年々老朽化が進み、施設機械類の更新時期が迫っており、今後も安定した運転を継続していくためには、多大な費用が必要になってくる。日々発生するごみを適正に処理し、安全な施設運営をいかに効率よく行っていくかが、全

体的な課題だと捉えている。

**狭山ヶ丘中学校の騒音問題**

**騒音測定の判断基準は**

質問者 みんなの党 所沢 谷口 雅典

**議員** 市長は、狭山ヶ丘中学校の学習環境格差是正を意図した騒音対策のためのエアコン設置は現状では必要なしと、騒音測定後に改めて判断したと認識しているが、そもそも今回の測定結果において、問題あり、なしの判断基準を測定値、測定時間の数値についてはどこに置いたのか。

**市長** 今回の測定は、授業中の航空機による騒音の実態を把握することを目的として実施したもので、あらかじめ判断基準の設定はしていない。広報ところざわに記載している70デシベルという測定値は、一般的にうるさく感じる数値ということで掲げさせていただいた。

**広報ところざわ11月号**

**狭山ヶ丘中学校記事の出どころは**

質問者 日本共産党 平井 明美

**議員** 広報ところざわ11月号に掲載された「狭山ヶ丘中学校へのクーラー設置をとりやめた理由」という大見出しでの記事についてだが、狭山ヶ丘中学校のエアコン設置のための国庫補助金を返還しただけでも市民は驚いているのに、税金を使って持論を公の広報に掲載するなど前代未聞であり、市民と市長の溝は深まるばかりである。広報ところざわに掲載する記事に基準はないとのことだが、この

掲載は市長の依頼によるものか。

**総合政策部長**

狭山ヶ丘中学校のエアコン設置取り止めに關する件については、本年5月に市のホームページに掲載しているが、その後、狭山ヶ丘中学校で航空機騒音測定を実施したことや、9月定例会において広く市民に説明するべきだという意見を多くいただいたこと、また、エアコン設置が当たり前になっている昨今において、それも設置する計画になっていたものをなぜ止めるのかといった疑問に分かりやすく答えるために、改めて市の対応や考えを掲載したものである。

**空き家対策の一環に解体費用の一部助成を検討してみても**

**一部助成を検討してみても**

質問者 民主ネットリベラルの会 石本 亮三

**議員** 空き家対策として、例えば、長崎県長崎市においては、解体費用を全額市で負担するかわりに、更地になった土地を譲り受け、自転車駐輪場や災害時の避難場所を兼ねた公園にする取り組みを行っている。本市の「空き家等の適正管理に関する条例」が、所有者の責任で空き家を解体するべきだという原則は理解しているが、今後ますます空き家が増加していくことが危惧される中、解体費用の助成を検討する時期がきているのではないか。

**危機管理担当理事**

条例に基づき、空き家の適正管理という観点から所有者に指導をすることから、現状の方法で引き続き指導を進めていきたいと考えている。



子どものいじめ対策に  
心のふれあい相談員の充実を

質問者 日本共産党 小林 澄子

議員 深刻化する学校のいじめに対して現場の教職員からは、心のふれあい相談員がいることが子どもたちにとって非常に効果的だと伺っていることから、より一層の充実が必要だと考えている。現在の採用条件、勤務時間、配置はどのようなになっているのか。

学校教育部長 心のふれあい相談員には、子どもや保護者等の心の悩みに対して、親身になって相談に応じることができ、意欲や知識、経験があり、教育委員会が示す勤務条件で勤務可能な方を採用している。勤務時間については、週5日、1日5時間で200日を限度としており、中学校へは市内全校へ1人ずつ配置しているが、小学校へは2校に1校の配属で、週5日の勤務日のうち、拠点校へ3日、配属校へ2日の勤務となっている。

学校運営マルチサポーター制度  
来年度以降の継続は

質問者 公明党 福原 浩昭

議員 狭山ヶ丘中学校に設置する予定であったエアコンの費用により実現した学校運営マルチサポーター制度の財源は、

今年度分のみで、来年度以降に継続させるためには、別の財源が必要なのか。  
学校教育部長 狭山ヶ丘中学校のエアコン工事に係る財源の一部を充て、今年度は、心のふれあい相談員、学校運営マルチサポーター等を配置した。来年度以降も継続するためには、新たな財源確保という課題があるが、教育の充実のために実施した事業であることから、引き続き人材配置をしていきたい。

図書館に  
「赤ちゃん優遇タイム」の設置を

質問者 所沢フォーラム、おぞら 岡田 静佳

議員 所沢図書館新所沢分館では、大人向けと児童向けの図書が隣接しており、ベビー室にも仕切りがないため、ほかの利用者に迷惑をかけてしまうこともある。そこで、児童が騒いでもいい時間「赤ちゃん優遇タイム」を設置できないか。

教育総務部長 「赤ちゃん優遇タイム」は、乳幼児連れの方々には気兼ねなくゆつくり図書館を利用いただけるよう、一定の曜日や時間帯に設定するものであり、本市においても図書館利用の促進と子育て世代に対する支援という観点からこうした時間を設けることの必要性については認識している。このため、新所沢分館においては、近隣に小学校があり、また、下の階には児童館もあるなど、環境的に他の利用者の協力が得やすいとの理由で、本年11月より毎月1回の親子おはなし会に併せ「赤ちゃんタイム」を設定し、試行的に実施を始めたところである。

閉会中の議会活動

■ 総務常任委員会

沖縄県宜野湾市の基地対策について、那覇市の那覇市IT創造館について、沖縄市の電子決裁について、それぞれ視察しました。

■ 教育福祉常任委員会

特定事件「保健・医療について」のうち、周産期医療について審査を行いました。

新潟県三条市の子ども・若者総合サポートシステムについて、群馬県高崎市の市立小学校における3学期制への移行について、それぞれ視察しました。

■ 市民環境常任委員会

熊本県熊本市の商店街空き店舗対策および買い物弱者対策について、佐賀県佐賀市の商業活性化

(中心市街地活性化)について、鹿児島県鹿児島市の桜島の降灰対策について、それぞれ視察しました。

■ 建設水道常任委員会

水道部の上下水道の管網管理システムおよび、合流改善小手指貯留施設(小手指公園)について視察しました。

■ 議会運営委員会

東京都八王子市議会の予算等審査特別委員会について視察しました。

■ 広聴広報委員会

三重県議会の広聴広報全般について、三重県鳥羽市議会のソーシャルメディア全般について、それぞれ視察しました。

請願・陳情審議の結果 (12月定例会)

件名	提出者	結果
○請願第5号(議会運営委員会へ付託) 消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願	埼玉土建一般労働組合所沢支部 代表者 田中康夫さん(上新井)	審議未了

### ●所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会からの「答申」についてお知らせします●

所沢市議会では、「所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会」を設置し、議員定数のあり方を検討して参りました。審議会は、昨年5月14日、7月30日および10月22日の3回開催され、11月29日に「答申」をいただきました。

#### 諮問要旨

所沢市議会としてふさわしい議員定数のあり方を決定するにあたり、その前提となる議員定数の算出根拠等について諮問するものです。

#### 答申 (概要)

- (1) 議会活動の充実のために求められる議員定数  
 現行の9人の委員で構成する4常任委員会体制を維持していくことが望ましい。また、議長は、実質的に委員会審査に参加しないことが慣例であることから、あるべき議員定数を37人とする。
- (2) 当面の情勢下における議員定数についての判断  
 市政全体の行財政改革に対する議会としての強い政治姿勢を示すことも期待されているが、その一方で、議会としての最低限確保すべき活動の充実は犠牲にすべきではない。  
 こうした観点から、当面の情勢下の政治的な判断として定数減を行う場合には、1常任委員会8人、議長を加えた33人を下限とすることが望ましい。

今後は、この答申を踏まえ、所沢市議会としてふさわしい議員定数について協議し、意見提案手続(既に終了しています)および公聴会(2月5日開催)を実施しながら、最終的な議員定数を決定していく予定です。

※答申書の全文は市議会ホームページに掲載しています

## 可決された 意見書

### 慢性の痛み対策研究経費の確保を求める意見書

所沢市議会は平成22年7月1日、手足などに激しい持続的な痛みを伴うRSD(反射性交感神経性ジストロフィー)について、「RSD(CRPS)の難病指定を求める意見書」を全会一致で採択した。その後、平成23年度よりRSD(CRPS)を含めた「慢性の痛み対策研究事業」が1億3,000万円の予算で開始され、平成24年度には「からだの痛み相談・支援事業」も行われるようになった。

慢性の痛みに関する研究を継続的に実施するための基盤を形成すること、効率的かつ効果的な行政施策を実施するために必要な情報を収集すること、病態解明や客観的な評価方法の確立や画期的な診断・治療法の開発等を推進することを目的とする「慢性の痛み対策研究事業」は、これから研究が軌道に乗り、RSD(CRPS)をはじめとする慢性疼痛患者は研究の成果を心待ちにしているところである。

しかしながら、平成25年度の厚生労働省の概算要求において、「慢性の痛み対策研究経費」は、約6,800万円で、他に増額された研究経費が数多くあるにもかかわらず、最も大幅な減額率(前年度予算比約40%減)となっており、慢性疼痛患者は「治療法の開発など進むのだろうか」と非常に心配している。RSD(CRPS)等の「治療法が確立していない」現状を鑑みると、今後も慢性の痛み対策については安定した研究の継続が求められている。

よって、国においては「慢性の痛み対策研究事業」について、来年度以降も安定した研究の継続のために十分な予算を確保するよう強く要望する。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣

委員長 石本 亮三  
 副委員長 荻野 泰男  
 委員 脇 晴代 矢作 いづみ  
 赤川 洋二 松崎 智也  
 松本 明信 安田 義広  
 亀山 恭子 福原 浩昭  
 浜野 好明(議長)  
 桑島 健也(副議長)

連絡先 議会事務局調査担当  
 (TEL) 2998-9256  
 (FAX) 2998-9222

寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。先日、国のニュースでは、政府と日銀の「アコード」(政策協定)という用語をわかりやすい表現に変えようとする動きがありました。所沢市議会でも、市政や市議会の取り組みをわかりやすく伝えられるよう努力を続けて参ります。ぜひ、皆様の声を市議会までお寄せください。(松)



次の定例会は  
 2月20日からの  
 予定です。